

おっちゃんだより

●2020年12月、ご支援頂きました

野宿者を支援する会に「イエローエンジェル」宗次（むねつぐ）さんよりご寄付をいただき、お話をうかがいました。（宗次徳二氏は、CoCo 番屋創業者）『世の社長さんたちがこそって寄付をする！そんな日本になって欲しい。だから売名行為だと言われようと僕は先頭に立って新聞やテレビにもどんどん取り上げてもらい続けている。特に行政からの支援がない人たちの助けになりたい。



宗次さん 東岡牧 秘書さん



野宿者の方達が少しでも寒さをしのげるなら（ジャンパー・ズボン50人分、カイロ3000個をご寄付下さいました）、いつでも僕はまた買い出しに行く。買い出しとか自分で動くのは大好きなんでね』と最後は照れながらおっしゃいました。宗次ホールに、野宿者を支援する会のチャリティボックスを置いていただけたことも決まりました。「当たり前のことをしたまで」と言われた事が深く印象に残りました。

●第2木曜日は、名古屋市天白川巡回 2か月前より天白川域に住み始めたU君(25歳)の再就職が決まった話です。

U君は、もともとKさんが住んでいた小屋のとなりに住み始めました。今年のコロナウイルスにより失業し、実家を出て天白川にたどり着きました。11月の巡回でU君に小屋の外から声かけした時は、出てきてくれませんでした。（後に聞いたところ、とても怖かったのだそう）その時はチラシだけ置いて帰りました。U君はチラシを見て月末の「野宿者の健康を支える会」（お弁当付）に、自転車で40分かけて来てくれました。私たちメンバーはU君が来てくれたことに大変喜び、その時には他の方よりもたくさんの食品を渡しました。

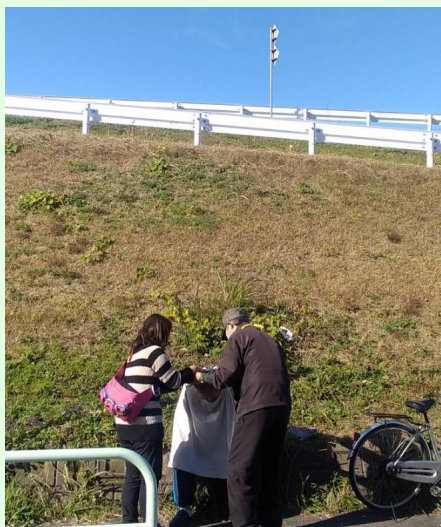
再就職のきっかけは、近所にお住まいのAさんが川沿いを散歩中に、Kさんと会話するようになっていたそう。天白川沿いのKさんを訪ねたAさんは、住んでいたのがU君に変身したからビックリしたそうです。

AさんはU君と雑談するようになり、ある日再就職を斡旋したという事なのです。このままじゃいけないと思ってたUくんは無事就職することが出来ました。

そして今日は「野宿者を支援する会」天白川巡回の第2木曜日。支援の人に挨拶とお礼がしたいと、社長に休暇をもらい、Aさん家族も彼と共に待っていてくださいました。

『Uくん、もう会うことはないけど。よかったね』と握手を求めたら、『良かったです。でも僕、また今月末に野の花行きます。皆さんのお手伝いがしたいです。』ということでした。とても嬉しく泣きそうになりました。U君にとって、東岡牧さんを中心とするメンバーの活動が、お役に立っている事を実感した瞬間でした。

●青空の下で床屋さん



河川敷に野宿している方で「なかなか床屋に行けないのでカットしてもらえると有難い」言われていつも炊き出して床屋ボランティアをしている方を3か月に1度お連れします。年末に本人も満足。床屋のボランティアさんも喜んでもらい、嬉しそうでした。



●発行者「野宿者を支援する会」代表 東岡 牧

連絡先：higashiokamaki@yahoo.co.jp ホームページ：http://higashioka-maki.net/

活動拠点：名古屋市中区新栄2-36-5「野の花」寄付の受付：ゆうちょ銀行：記号12090 番号14146781『野宿者を支援する会』

●編集後記

いよいよ越冬突入です。心を引き締めてできる活動をさせて戴きたいと思います。